

第35回 秋季-湘南若鮎少年野球大会

実施要項(案)

大会名：第35回 湘南若鮎少年野球大会

目的：少年野球の普及・向上及び、野球競技を通じ青少年の健全育成をめざす

主催：湘南若鮎少年野球大会実行委員会

後援：平塚市教育委員会 ナガセケンコー株式会社

会期：平成28年10月22日(土) バッティングパレス相石スタジアムひらつか(平塚球場)

【開会式】午後1時～[受付開始12時20分より] 【オープニング戦】午後2時頃～

平成28年10月23日(日)・29日(土)・30日(日)

平塚大神スポーツ広場、他 [全4～6面]

平成28年11月5日(土)

【準決・決勝・閉会式】平塚市大神スポーツ広場

予備日：6日(日)・12日(土)

抽選会及び監督会議：平成28年9月17日(土) 17:30～受付 平塚総合体育館A会議室

大会本部：湘南若鮎少年野球大会事務局 中世古かおり 携帯:080-5422-2009

(ひまわりスポーツ内：平塚市夕陽ヶ丘35-22 [TEL:0463-21-2009](tel:0463-21-2009)/[FAX:0463-24-4188](tel:0463-24-4188))

参加チーム：平塚市及び湘南地域の少年野球チーム 約55チームによるトーナメント戦

チーム編成：監督、コーチ3名、スコアラー1名、選手20名の25名以内

- 大会運営・競技運営に関する事項 -

競技方法：①全試合7イニング制とする。

②試合時間が90分以内とし、越えた場合は新しいイニングに入らない。決勝戦を除く

③投手は1日7イニングまで投球できるものとする。

④同点の場合は特別延長戦を適用する。(2回まで)

(特別延長戦とはノーアウト走者満塁、打者は継続打者で2イニングまで。

尚、同点の時は、この時点のメンバー全員のくじ引きで勝敗を決定する。)

⑤点差によるコールドゲームは3回以降10点差、又は5回以降7点差とする。

但し決勝戦はこの限りではない。

⑥降雨などで試合不可能になった場合、5回の裏が終了し得点差がある場合、また5回表が終了し後攻側が勝っているは、成立する。以外は再試合となる。

- ⑦シートノックは5分以内とする。ただし、試合開始予定時刻が延びたり、天候状況によってはシートノックを省くこともある。
- ⑧雨天連絡は各チーム連絡責任者がブロック長に連絡をとる。(午前6時より)
- ⑨試合球はC球号(ナガセケンコー)を試合毎に持参する。(2球)
- ⑩バットは、大会本部が承認したものとする。

競技規則：2016年公認野球規則・全日本軟式野球連盟競技者必携及び大会規則を適用する。

大会規則：①ベンチは組合せ番号の若いチームを一塁側とする。

- ②ベンチには登録した選手・指導者(代表者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名)以外入ることは出来ない。
- ③投手の投球練習は初回5球、2回以降4球以内とする。
- ④選手の交代は監督が球審に申し出ること。
- ⑤アピールは監督・当該プレーヤーだけに許される。
- ⑥攻守交代は迅速にし、打者は速やかに打席に入ること。
- ⑦試合前のシートノックは、5分間(状況により無し)を限度とする。
- ⑧試合終了時のグラウンド整備は、両チームで必ず実施すること。
- ⑨試合中の事故に対する責任は所属チームとすること。健康管理、ならびに危険防止には万全を期して下さい。
- ⑩医薬品は各チームで準備して下さい。
- ⑪指導者は登録の枠内としユニフォーム・運動靴・帽子を着用すること。
- ⑫内野手の球回しは投球練習のみとする。
- ⑬打者・走者・次打者・ベースコーチはヘルメットを着用する。
- ⑭捕手はマスク・プロテクター・ヘルメット・レガース・セイフティーカップ・スロートガードを着用する。
- ⑮打順表の提出は試合開始予定の30分前に、キャプテンがグラウンド役員まで。攻守の決定その時に行う。
- ⑯審判は試合開始30～60分前までに、審判の出来る服装で担当グラウンドに集合すること。
- ⑰メガホンの使用は監督のみとする。
- ⑱声援は相手方の立場も考え、また特にファインプレーには惜しみない拍手をお願い致します。
- ⑲サングラスの使用に関しては、野手が眩しくてプレイに支障が出る場合や、疾病等のやむを得ない場合は審判委員に申し出て使用を許可する。但し、ミラーコーティングされたレンズは許可しない。

表彰：優勝 - 賞状・優勝旗・金メダル
準優勝 - 賞状・準優勝カップ・銀メダル
第3位 - 賞状・トロフィー・銅メダル (2チーム)